

作成日 : 2016 年 8 月 3 日
 改訂日 : 2017 年 11 月 24 日

安全データシート

【1. 製品及び製造者情報】

製品名 : C&B ダイヤモンド研磨材
 会社名 : YAMAKIN株式会社
 住所 : 〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町3番7号
 電話番号 : 06-6761-4739(代表)
 F A X 番号 : 06-6761-4743(代表)

【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性固体 : 区分外
 自然発火性固体 : 区分外
 自己発熱性固体 : 区分外
 水反応可燃性化学品 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分外
 急性毒性（経皮） : 区分外
 急性毒性（吸入：粉塵） : 区分外
 皮膚腐食性／刺激性 : 区分外
 眼に対する重篤な損傷／
 眼刺激性 : 区分 2
 皮膚感作性 : 区分外
 生殖細胞変異原性 : 区分外
 発がん性 : 区分 1A
 生殖毒性 : 区分外
 特定標的臓器毒性（単回暴
 露） : 区分 3（気道刺激性）
 特定標的臓器毒性（反復暴
 露） : 区分 1（呼吸器、免疫系、腎臓）

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性） : 区分外
 水生環境有害性（慢性） : 区分 4

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 眼刺激及び呼吸系を刺激することがある。
 発がんのおそれ
 呼吸器への刺激のおそれ（気道刺激性）
 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害（呼吸器、免疫系、腎臓）

注意書き

【安全対策】

粉塵の吸入を避けること。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護マスクなどを着用すること。
 取り扱い後はよく手を洗うこと。
 使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 環境への放出を避けること。

【応急措置】

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合 : 瞼を指でよく開いてすみずみまで水がいきわたるようにして水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
 皮膚に付着した場合 : 付着した部分を多量の水あるいは流水と石鹸でよく洗う。皮膚に炎症を生じた場合は医師の手当てを受ける。
 飲み込んだ場合 : 多量の水又は牛乳を飲ませ吐かせる。気分が悪い場合は速やかに医師の手当て、診断を受ける。
 暴露又は暴露の懸念がある場合 : 医師の診断／手当てを受けること。

【保管】

部外者が触れないような措置をし、保管すること。
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【3. 組成・成分情報】

単一製品・混合の区別 : 混合物
 成分及び含有量 :

化学物質名	化学式	含有量(wt%)	CAS No.
ダイヤモンド粉末	C	50	7782-40-3
二酸化ケイ素	SiO ₂	20	7631-86-9
ステアリン酸	CH ₃ (CH ₂) ₁₆ COOH	20	57-11-4
トリアシルグリセリン	CH ₂ (OCOR)CH(OCOR')CH ₂ OCOR''	8	8030-12-4

ポリエチレングリコール	H(OCH ₂ CH ₂) _n OH	2	25322-68-3
キーマライムオイル	—	<1	—

【4. 応急措置】

- 吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静にさせ、気分が悪い場合は速やかに医師の手当て、診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 瞼を指でよく開いてすみずみまで水がいきわたるようにして洗う。痛み、充血などの症状のある場合は、直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 付着した部分を水と石鹼でよく洗う。皮膚に炎症を生じた場合は医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 多量の水又は牛乳を飲ませ吐かせる。気分が悪い場合は速やかに医師の手当て、診断を受ける。

【5. 火災時の措置】

- 使用可能消火剤 : 周辺の火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。霧状水、粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂等。注水は、飛散防止に配慮する。
- 特有の危険有害性 : 特になし。
- 特有の消火方法 : 安全に対処できるならば着火源を除去すること。消火活動は、有効に行える十分な距離から行う。危険でなければ火災区域から容器を移動する。周辺設備等の輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め、適切な化学用保護衣を着用する。

【6. 漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 漏洩した製品が、河川などに排出され、環境へ影響を起ささないよう注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : ウェス等に吸収後、空容器に回収する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを取り除く。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い上の注意 : 強酸化剤との接触を避ける。
取り扱いの都度、容器を密閉すること。
- 混触危険物質 : 【10. 安全性及び反応性】を参照。

保管上の注意 : 直射日光を避けて室温で密閉して保管する。

【8. 暴露防止措置】

設備対策： 密封された場所で取扱う場合は全換気装置又は必要に応じて局所排気装置を設置すること
 管理濃度： 設定されていない。
 許容濃度：

成分	化学式	日本産業衛生学会 許容濃度 /mg/m ³	ACGIH /mg/m ³
ダイヤモンド粉末	C	8*1(2*2)*3	設定されていない
二酸化ケイ素	SiO ₂	8*1(2*2)*3	0.1*4
ステアリン酸	CH ₃ (CH ₂) ₁₆ COOH	—	—
トリアシルグリセリン	CH ₂ (OCOR)CH(OCOR')C H ₂ OCOR”	—	—
ポリエチレングリコール	H(OCH ₂ CH ₂) _n OH	—	—
キーマライムオイル	—	—	—

※1 総粉塵許容濃度

※2 吸入性粉塵許容濃度

※3 日本産業衛生会 2015 年度版

※4 ACGIH 2006 年度版

保護具： 呼吸器用保護具、保護眼鏡、保護手袋、保護衣など

【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など : 固形物、白灰色
 臭い : 無臭
 pH : データなし
 融点・凝固点 : データなし
 沸点 : データなし
 比重 : データなし
 引火点 : データなし
 爆発範囲 : データなし
 蒸気圧 : データなし
 蒸気密度（空気＝1） : データなし
 溶解性 : データなし
 n-オクタノール／水分配係数 : データなし
 自然発火温度 : データなし
 分解温度 : データなし
 臭いのしきい(閾)値 : データなし
 蒸発速度（酢酸ブチル＝1） : データなし
 燃焼性（固体、ガス） : データなし

粘度 : データなし

【10. 安定性及び反応性】

反応性 : 強酸化剤、フッ化水素と反応する
 苛性ソーダ・苛性カリ等アルカリと反応して塩を生成する
 安定性 : 安定
 危険有害反応可能性 : データなし
 避けるべき条件 : 高温と直射日光
 混触危険物質 : 強アルカリ、強酸化剤、フッ化水素
 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、二酸化炭素

【11. 有害性情報】

急性毒性 : データなし
 局所効果 : データなし
 感作性 : データなし
 慢性毒性・長期毒性 : データなし
 発がん性 : データなし
 変異原性 : データなし
 催奇形性 : データなし
 生殖毒性 : データなし

【12. 環境影響情報】

移動性 : データなし
 残留性／分解性 : データなし
 生体蓄積性 : データなし
 生体毒性・魚毒性 : データなし
 その他 : データなし

【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物 : 廃棄する際は、都道府県知事の許可を受けた専門業者に委託すること。
 汚染容器・包装 : 付着物があることを十分に認識し、洗浄等して廃棄すること。産業廃棄物として、規則に従って廃棄すること。

【14. 輸送上の注意】

国際法規制
 海上規制情報 : IMO の規制に従う。
 航空規制情報 : ICAO の規制に従う。
 国連分類 : 非該当
 国内法規制

陸上規制情報	:	消防法の規定に従う。
海上規制情報	:	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	:	航空法の規定に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	:	輸送前に容器の破損、腐食、漏れがないことを確認する。 転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に 行う。

【15. 適用法令】

化審法	:	非該当
労働安全衛生法	:	名称等を通知すべき (第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2 別表第 9) (政令番号 第 312 号、二酸化ケイ素として)
化学物質排出把握管理促進 法 (PRTR 法)	:	非該当
毒物及び劇物取締法	:	非該当
消防法	:	第 2 類 可燃性固体類 (トリアシルグリセリンとして) 第 4 類 第四石油類 (ポリエチレングリコールとして) 第 4 類 第二石油類 (キーライムオイルとして)
船舶安全法	:	非危険物
航空法	:	非危険物

【16. その他の情報】

本製品は歯科用材料です。用途の変更や一般家庭での使用は避けてください。
 注意事項は、通常の実施を前提としたものであり特別の実施をする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施してください。
 また記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。全ての化学品には未知の有害性がありうるため、取り扱いには細心の注意が必要です。使用前のテストを含め、本製品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。

参考文献

- 1) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) ホームページ
- 2) 日本産業衛生学会 許容濃度の勧告 (2015 年版)
- 3) ACGIH ホームページ

【改訂履歴】

00	2016	年	8	月	3	日	初版
01	2017	年	11	月	24	日	2 版 社名変更および記載整備